



ハイライト

- 第 1 回移住受入協議会のメインテーマは「情報発信」
- 6 月の移住フェア、移住セミナー及び相談会レポート

目次

- 第 1 回移住受入協議会が開催されました！ …1
- 【6 月 9 日、10 日、11 日 in 東京】移住フェア、移住セミナー&相談会レポート～参加自治体：沖縄県・石垣市・久米島町～ …2
- 沖縄県町村会定期総会に於いて移住定住対策をテーマとした講演を実施 …2
- 市町村の移住受入取組のご紹介「国頭村 移住体験住宅」 …2

平成 29 年度第 1 回移住受入協議会が開催されました！

新役員の選出 / 移住定住促進事業の概要 / 「情報発信」の大切さを伝える講義を実施



6 月 21 日(水)に平成 29 年度第 1 回沖縄県移住受入協議会が開催されました(於：沖縄県庁 12 階会議室)。22 市町村、28 名の参加があり、複数新聞社による取材も入る等、移住取組への注目の高まりを感じました。

儀間秀樹会長(沖縄県企画部企画調整統括監)挨拶に始まり、任期満了に伴う副

会長長役員の選出として、再任の沖縄県地域・離島課長と、新たに石垣市企画部企画政策課長の計 2 名が選任されました。

協議事項は県による本年度の移住定住促進事業計画の説明に始まり、「おきなわ移住の輪—結—」のウェブサイトと Facebook ページ概要の説明や情報投稿の願いを市町村移住担当者に向けて行いました。続いて「おきなわ移住の輪—結—」全体の管理を委託している S&L United 株式会社の島袋弘人さんには「情報発信の重要性について」講義を頂き、また NPO 法人ふるさと回帰支援センターの河野里奈さんからは「移住相談から見る情報発信について」として実際センター内の県ブースに設置するのに有効なパンフレットや写真アルバム等の情報ツールについて、他県の具体的な参考例も含めて講義頂きました。

また協議会終了後には、「おきなわ移住の輪—結—」ウェブサイトへの情報投稿方法の研修が行われました。

今後の移住受入施策の推進の鍵は、「情報発信」と思われます。理想とする地域の将来像を見据え、そのための人口増加と合わせた地域振興を実現するためにも、ぜひ各市町村による情報発信を活発に行っていただきたいです。「おきなわ移住の輪—結—」について、また移住情報発信用のツール(映像、パンフレットや施設やフェアでの設置資料等)についてのご相談、ご質問がありましたら県地域・離島課までお気軽にお問合せ頂ければと思います。

今後の予定

【移住フェア】

- 7 月 29 日(土)
おいでや！いなか暮らしフェア
(大阪)
- 9 月 10 日(日)
ふるさと回帰フェア(東京)
- 11 月(予定)
イベントブース出展(東京)

【沖縄移住セミナー(移住相談会)】

- 7 月 30 日(日)
(大阪)
- 9 月 8 日(金)
(東京)
- 10 月 22 日(日)(予定)
(東京)
- 11 月 4 日(土)
(大阪)

【地域の世話役養成塾】

- 第 1 回講座開講
7 月 20 日(木)北部会場
7 月 21 日(金)南部会場

【6月9日、10日、11日 in 東京】 移住フェア、移住セミナー&相談会報告

～ 参加自治体：沖縄県・石垣市・久米島町 ～



本年度の第1回目となる移住希望者に向けたセミナーと相談会に、沖縄県、石垣市、久米島町担当者で行ってきました！

2日連続開催！県主催移住セミナー



6月8日(金)は移住・交流ガーデン(東京八重洲)、9日(土)はふるさと回帰センター(有楽町)にて、県主催の移住セミナーを行いました。両日多くの来場者があり盛況でした。

セミナー内容は、県全体の概要、に始まり、石垣市、久米島町による自治体の紹介でした。石垣市、久米島町共にスーパーなどの買い物事情や病院等、暮らしの情報を詳しく盛り込んだ内容で、特に地域の美しい風景写真がモニターに大写になると、歓声が上がったことは印象深かったです。(次回の移住イベントでは、目に訴えるPR方法も検討したいと思いました。)

また、久米島町による「海洋深層水や車エビ」等の産業紹介に来場者の多くが興味を持ったようでした。元気な地域産業は地域の将来性を感じ、好感を持ってもらえるようです。

セミナー後の座談会では市町村担当者を囲んで数名ずつのグループになり、質疑応答をしました。「住まいの探し方」「交通手段」等に一つ一つお答えし、相談者の多くが知りたい情報をシェア出来たと思います。その後の個別相談では、具体的な相談内容が多く、来場者の沖縄移住に対する意欲が感じられました。

『九州・山口・沖縄 IJU フェア』も盛況！

最終日はふるさと回帰支援センター主催の『ハロー！ふるさとハロー！ローカル九州・山口・沖縄 IJU フェア』への出展でした。会場は九州、山口の市町村によるブースも多く出ており、最終来場者数は300名以上だったとのこと。沖縄県、石垣市、久米島町ブースへも多くの来場者があり、沖縄を複数回訪れたことがある方が多く、将来沖縄で暮らしたいという熱意をお持ちでした。7月には大阪で移住フェア、県主催の移住セミナーに複数市町村と共に出席いたします！



沖縄県町村会定期総会に於いて移住定住対策をテーマとした講演を実施



7月12日の沖縄県町村会定期総会(於：石垣市)にて、各町村長を対象に、県より移住・定住対策をメインテーマとした講演会を行いました。国内全体の移住者の昨今の動向や県内外の移住取組例を紹介し、町村長の皆さんにも関心を持って頂くことができました。首長と移住担当で問題意識を共有し、今後の更なる積極的な移住定住対策へと発展していくことを期待します。

市町村の移住事業施策をご紹介 国頭村「移住体験住宅」



CAMP HENTONA HP より(<http://camp-hentona.yumbaru.jp/>)

国頭村では、移住を検討している方に実際に一定期間地域に暮らすお試し移住として、住宅宿泊所を提供しています。

国頭村移住体験住宅概要

- 1号館
- 2号館(別名キャンプヘントナ。1Fはラウンジヘントナとして
コワーキングスペース コミュニティカフェを運営中)

場所：国頭村字辺戸名

利用金額：1号館 1500円/泊、2号館 3000円/泊

2号館の移住体験住宅は、国頭村の市街地辺戸名にある空き店舗を活用しています。市街地内にあるため、移住体験者は滞在中に商店や役場、小学校等の生活と結びつく施設を暮らす視点から直接見て回ることが可能です。住宅にはテレビや冷蔵庫、洗濯機、エアコン、炊飯器、寝具など生活に必要な設備が一通り揃っています。

本移住施策は地方創生推進交付金(1/2)と過疎対策事業債を財源として行われました。移住希望者の相談で、生活視点から一定期間お試しで地域に暮らしてみたいという要望がよくあります。空き店舗、空き家の活用や交付金の活用法としてご参考下さい。